

5 学年の栽培計画



栽培する植物をどう選ぶか

5 学年のA領域では、「発芽と成長」「花から実へ」などの単元で、植物を育て、発芽や成長および結実の様子を調べ、その条件について考察します。雌花と雄花の区別が付きやすい作物として、ここではカボチャを紹介しました。「花から実へ」の学習ではカボチャのかわりに、ヘチマ・ヒョウタン、キュウリ（地這いが簡単）、ニガウリなど

ウリ科の植物を栽培してもよいでしょう（4 学年の項を参照）。

キュウリを6月ころ遅くまけば、9月の学習に使えます。同じウリ科のマクワウリやアサガオ（1 学年の項を参照）もおもしろいでしょう。

インゲンマメは「発芽と成長」の単元で種子が発芽するための条件を考える実験で使います。発芽の実験を終えたら、土に植えかえて成長の様子を調べます。ただし、前の学年でダイズを栽培したあと地にインゲンマメを植えると、ほとんど収穫は期待できません。

月	学期	関連する単元	インゲンマメ	カボチャ	イネ	
3	休	発芽と成長				
4						
5	一学期		● たねまき	△ 植えつけ	● たねまき	
6					△ 田植え	
7			○ 開花			
8	休			□ 収穫		
9	二学期		花から実へ	□ 収穫		○ 開花
10						□ 収穫
11						
12						
1	三学期					
2						



他教科や総合的な学習の時間との関連での配慮

社会科の農業の学習や総合的な学習の時間との関連で、イネを栽培する機会が多い学年です。田植え、稲刈りの作業だけに終わらせないよう、観察・実験的な活動を十分に盛り込みましょう。イネの開花以降、結実までは、夏休み後半から9月初旬までの管理がやりにくい時期にあたります。この時期に水を切らさないことが収穫のこつです。

（協力 / 毛利澄夫）